

平成筑豊鉄道安全報告書

2014年度版



この安全報告書は、当社における鉄道輸送の安全確保に向けた取組みや安全の実態をまとめたものです。

1. 利用者はじめ地元の皆様へ

弊社の鉄道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠に有難うございます。

弊社は、「安全」を事業運営の基本とし、「お客様の安全が最優先」を経営トップを始め全社員が念頭におき、安全・安定輸送に努めております。また、今後とも更に安全の確保に努め、公共交通機関としての信頼性の向上を目指してまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見等を頂ければ幸甚に存じます。

平成筑豊鉄道(株) 社長 伊藤 信勝

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は安全、安定輸送の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、全社員に周知・徹底しています。

- ①安全の確保は輸送の生命である。
- ②規程の遵守は安全の基礎である。
- ③執務の厳正は安全の要件である。

(2) 安全目標

区分	項目	内容
定量的な目標	・列車事故 (衝突・脱線・火災)	重大事故を発生させない
	・乗客の死傷事故	乗客の死傷事故を発生させない
	・踏切障害事故	踏切故障による人身事故を発生させない

3. 事故等の発生状況とその再発防止処置

(1) 鉄道運転事故

2013年度は、12月31日に伊田線下伊田～田川伊田間西大通り国道踏切で踏切障害事故が1件発生しました。

鉄道運転事故発生件数(過去5年間)

年度	2009	2010	2011	2012	2013
列車事故	0	0	0	0	0
人身傷害事故	0	0	0	0	0
踏切障害事故	0	0	0	0	1

(2) 災害(地震や暴風雨、豪雪など)

2013年度は、大きな災害等は発生しておりません。

(3) インシデント(事故の兆候)

2013年度のインシデントは、踏切しゃ断器の不完全しゃ断が1件発生しました。

閉そく違反	信号違反	信号冒進	本線逸走	工事違反
0	0	0	0	0
車両脱線	施設障害	車両障害	危険物漏洩	その他
0	1	0	0	0

(4) 行政指導

2013年度は、九州運輸局からの行政指導はありませんでした。

4. 輸送の安全確保の取り組み

(1) 安全重点施策

① 人身傷害事故の予防

当社は、全てワンマン列車です。特にお客様の乗降時における

ドアによる傷害事故防止に努めています。

その予防策として

ア、車両にドアセンサーの設置(13両中7両設置)

イ、ドア閉そく圧力の調整

ウ、車内放送による注意の呼掛け

② 踏切障害事故防止

2013年度は、踏切故障の防止対策として、警報機、踏切器具箱、踏切制御子、障害物検知装置の取替えを行いました。

踏切は、昼夜を通して列車が通る際に横断する歩行者や自動車の安全を保つための設備です。しかし、落雷等により警報機が故障する場合がありますので踏切では、必ず一時停止と左右確認をお願いいたします。また、警報機が鳴り始めてからしゃ断機が降りるまで約4秒、完全に降りてから列車が到達するまでの時間は15秒から20秒要します。

自動車等が踏切横断中にしゃ断器が降下し踏切内に閉じ込められた場合は、そのまま自動車等でしゃ断カンを押し上げて脱出して下さい。しゃ断カンはななめに上がる構造となっています。

③ 線路故障防止

線路は、列車を走らせお客さまを安全・快適に目的地までお届けするための重要な設備です。線路の適切な点検・保守は安全性、快適性を確保するために、必要不可欠となります。

保守の一環として、2013年度は、木マクラギ712本の更新を行いました。

(2) 人材教育

弊社では、安全・安定輸送を確保するため、各部門の技術継承に努めています。その一環としてOJT教育を主体に人材の育成を行っています。



① 運転指令業務

列車運行全般の指示・命令を統括する業務であり、十分な教育と経験が必要となります。

② 工務関係業務

線路、橋りょう、トンネル等の点検・保守等を行っています。



③ 電気関係業務

信号機にトラブルが発生すると全列車に影響を及ぼします。電気関係社員は、この信号関係を始め踏切、列車無線、駅構内放送等の点検・保守を行っています。



④ 乗務員

乗務員は、昼夜を問わずお客様の安全を担って列車の運転を行っています。

昨年度は新人4名が乗務員となり、日々安全運転に邁進しています。

「初心忘るべからず」が事故防止の基本です。



⑤ 車両関係業務

車両関係社員の業務は、安全・安定運行確保のため車両の状態を健全に保持することです。

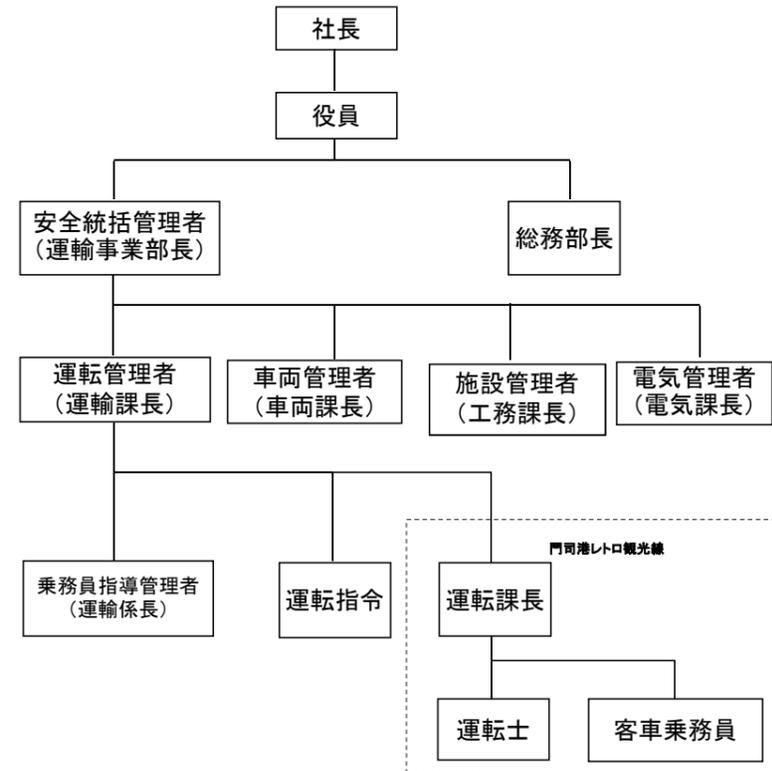
新製車両が投入され早いもので8年が経ち、全般検査の時期を迎えました。2014年度は3両の全般検査を予定しています。重要部検査は、2013年度3両実施しました。2014年度は1両を予定しています。

(3) 安全のための投資と支出

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
車両更新等	重要部検査(4両)	重要部検査(3両)	重要部検査(3両)	全般検査(3両) 重要部検査(1両)
信号保安設備	信号配電線更新	信号器具箱の更新	信号連動装置メモリ新設	—
踏切保安設備	危険踏切安全対策 踏切警報機更新	踏切バックアップ 検知装置の更新	踏切警報機の更新	踏切器具箱取替 踏切制御子取替
通信保安設備	通信柱の更新	通信柱の更新	通信柱の更新	—
軌道改修	まくらぎ交換(PC 化含む)レール交換	まくらぎ交換(PC 化含む)レール交換	木まくらぎ交換	木まくらぎ交換
橋梁改修	嘉麻川橋梁橋脚 補修(下り線)	嘉麻川橋梁ペイント 塗り替え	—	—

5. 安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にした上で、安全確保のための役割を担っています。



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者 (運輸事業部長)	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する
運輸管理者 (運輸課長)	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する
施設管理者 (工務課長)	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設(電気関係を除く)に関する事項を統括する
電気管理者 (電気課長)	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設の電気に関する事項を統括する
車両管理者 (車両課長)	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する

6. 地元の皆さまとの連携とお願い

(1) 踏切事故に、ご注意下さい
踏切では必ず一旦停止を行い、左右の確認を行って、列車の接近を確認してください。



※ 踏切の横に踏切名称と連絡先を書いた「連絡依頼標」があります。異常の場合は、踏切名と状況をご連絡をお願いします。



※ 非常ボタンを押す悪戯が増加してきています。悪戯を見かけたら注意していただくようお願いいたします。



(2) 気をつけていただきたい踏切

以下の踏切は列車の直前横断が多いので横断時には必ず左右の確認を、また、踏切直近に交差点がある場合、トリコにならないよう気を付けてください。万が一、トリコになった場合は非常ボタンを押すかシャ断機を押上げ(45度開く)自動車等を線路外に出してください。

	踏 切 名	所 在 地	記 事
1	神田踏切	行橋市西泉	自転車・歩行者の列車直前横断多発(遮断機、警報機なし)
2	お寺前踏切	福智町上金田	遮断桿折損多発(踏切の直近に交差点あり)
3	長浦公民館前踏切	田川市下伊田	遮断桿折損多発(踏切の直近に交差点あり)
4	宮床踏切	糸田町宮床	直近に県道合流の交差点あり(交差点に信号機なし)
5	上金田大踏切	福智町上金田	遮断桿折損多発(踏切の直近に交差点あり)

(3) こども110番

平成筑豊鉄道(株)では、「こども110番」として地域の子どもを守るため全社員で取り組みを行っています。

「こども110番」のステッカーを見て、子どもが助けを求めてきた場合は、社員が保護し、子どもに代わって、110番通報を行うなどの対応をとります。

(4) 乗車マナーについて

駆け込み乗車は大変危険です。過去のドア挟み事故の原因は殆どが駆け込みです。また、ホーム、車内での座り込みは他のお客さまにご迷惑をかける外、お客さまの足と絡み転倒したりします。乗車マナーを守って下さい。

(5) マナー指導員について

平成18年10月から利用者のマナー向上を図るため、警察OBを採用して車内で不正乗車、お年寄りの手助け、駅ホームでの駆け込み乗車禁止の指導を行っています。

(6) テロ対策

車内で不審者、不審物を発見した時は、運転士に連絡して頂くか、また車内警報ブザーを御利用下さい。



7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せ下さい。

ご意見、ご要望

平成筑豊鉄道(株)

TEL0947-22-1000 FAX0947-22-0910

Eメール heichiku@fukuoka.email.ne.jp

月～金 8:50～17:30(土日祝を除く)